



(写真) マドゥロ大統領 Telegram “BRICS 首脳会議 ベネズエラは BRICS 加盟候補国リストに入らず”

2024年10月23日(水曜)

政治

- 「[マドゥロ大統領 テジェチェア氏逮捕に言及](#)」
- 「[与党国会 12月15日までに選挙法改定](#)」
- 「[マドゥロ大統領暗殺計画疑惑のペルー人逮捕](#)」
- 「[米ハリス副大統領 ベネへの軍事介入を否定](#)」
- 「[米 ラウル・ゴリン氏の12億ドルの汚職訴え](#)」

経済

- 「[与党国会 CITGO 競売の責任者の捜査要請](#)
～[捜査対象者リスト 351人](#)～」
- 「[Provincial 銀行 自動車ローンキャンペーン](#)」
- 「[マルガリータ島 ベネ移民の観光計画を推進](#)」

2024年10月24日(木曜)

政治

- 「[BRICS 首脳会議閉幕](#)
～[ベネズエラ 伯反対で候補国入りならず](#)～」
- 「[BRICS 首脳会議 マドゥロ大統領の活動](#)」
- 「[首脳会議のメインテーマは新決済システム](#)」
- 「[MCM 氏・ゴンサレス氏 サバロフ賞受賞](#)」

経済

- 「[Avex 非石油部門の輸出は伸び悩み](#)」

社会

- 「[パナマ ベネズエラ移民の本国送還に苦慮](#)」
- 「[Eurobuilding Caracas 年末の宿泊パッケージ](#)」

2024年10月23日（水曜）

政治

「与党国会 12月15日までに選挙法改定」

与党国会は、選挙関連の法律の改定を進めている。

10月23日 ホルヘ・ロドリゲス国会議長は、選挙法改定に向けた公聴会を開始すると言及。選挙法の改定について12月15日までに終了するとの見通しを示した。

2025年には、地方選挙（州知事・市長選）および国会議員選が予定されている。

2つの選挙が同時に開催される可能性は低く、2025年前期に地方選、後期に国会議員選が実施される可能性が高い。

仮に25年6月に地方選が実施されるとすると、25年3月頃に候補者の受け付け期間が終了するスケジュールになるだろう。

このスケジュールを踏まえると、2025年1月頃には選挙関連法が改定されている必要があるということだろう。

なお、野党は1月10日にゴンサレス候補の大統領就任を宣言し、1～3月頃は与野党の対立がピークに達していることが想像される。

選挙法改定と与野党の対立激化を受けて、地方選・国会議員選に主要な野党グループが候補者を擁立できない可能性は高いだろう。

「マドゥロ大統領暗殺計画疑惑のペルー人逮捕」

「ベネズエラ・トゥデイ No.1130」で、マドゥロ政権転覆を企てていた19名を拘束したとの記事を紹介した。

本件について、ディオスダード・カベジヨ内務司法相は、19名のうちの1人がペルー人の Renzo Huamanchumo 氏だと発表した。

また、Huamanchumo 氏と共に、彼の恋人とされる Carolina Chirinos 氏、友人1名も拘束されたという。

カベジヨ内務司法相によると、Huamanchumo 氏がベネズエラに滞在していた表向きの理由は、彼の恋人の家族と会うためだったという。

Huamanchumo 氏は、バイク便（Mototaxi）に乗って陸路でベネズエラに入学。恋人と友人は Huamanchumo 氏とは別にタクシーに乗って陸路でベネズエラに入学したという。

しかし、カベジヨ内務司法相によると、「実際はマドゥロ政権を転覆させるためにベネズエラに入学していた」と指摘。Huamanchumo 氏が所持していたとされるライフルの画像を公開した。

なお、Huamanchumo 氏の家族はカベジヨ内務司法相の訴えを否定。恋人の家族に会いに行っただけだと主張している。

また、Huamanchumo 氏はボディーガード会社に勤めており、米国で多くのセレブリティの護衛を務めていたという。過去に護衛したことのある人物で名前が挙がっているのは Juan Gabriel、Marc Anthony、Angélica María、Jenni Rivera など。

カベジヨ内務司法相は、Huamanchumo氏を含めた19名について、米国の「中央情報局(CIA)」「麻薬取締局(DEA)」およびスペインの「国家諜報センター(CNI)」から委託を受けたグループと説明している。



(写真) Infobae

「米国政府は、ベネズエラ野党に対して制裁およびその他外交的なツールで支援を続ける」と言及した。

また「米国は大統領選の真の当選者はゴンサレス氏だと認識している」と補足。

「ベネズエラ国民の意志は尊重されなければいけない」「故に我々は制裁を科した」とコメントした。

「米 ラウル・ゴリン氏の12億ドルの汚職訴え」

10月23日 米国司法省は、マドゥロ政権高官のテストフェロ(資産隠しに協力する人物の総称)として有名なラウル・ゴリン氏(ベネズエラの民放「Globovision」のオーナー)について、

「合計12億ドルにおよぶPDVSAのマネーロンダリングに関与し、ベネズエラ政府関係者に数百万ドルの賄賂を支払った」と発表した。

米国国務省によると、ゴリン氏は2014年～18年にかけて米国の金融システムを利用し、マネーロンダリングを行ったという。

ラウル・ゴリン氏については、2018年11月に汚職を理由に米国マイアミ検察に起訴されており、19年1月には米国に個人制裁を受けていた(「[ベネズエラ・トゥデイ No.237](#)」)。

なお、ゴリン氏が行った汚職は当時の外貨管理制度を悪用したものだたとされている。

ベネズエラには現在も公定レートと闇レートが存在するが、2014年～18年当時、両者のレート差は現在と比べものにならないほど大きかった。

「米ハリス副大統領 ベネへの軍事介入を否定」

米国副大統領で、米国大統領選の民主党候補であるカマラ・ハリス氏は「Telemundo」のインタビュー番組に出演。

ベネズエラ問題について言及し、マドゥロ政権への軍事攻撃の可能性を否定した。

ベネズエラ問題について、ハリス副大統領は「ベネズエラ危機の解決は平和的で民主的なものでなければいけない」と指摘。

この為替差を悪用した汚職スキームだが、率直に言って、この汚職スキームを行っていた企業家は数えきれないほどいる。

また、この汚職にはマドゥロ政権関係者だけではなく、野党関係者も関与していたとされている。



(写真) El Estimulo “ラウル・ゴリン氏”

「マドゥロ大統領 テジェチェア氏逮捕に言及」

2024年8月まで石油相兼 PDVSA 総裁を務めていたラファエル・テジェチェア氏が逮捕された（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1132](#)」）。

テジェチェア氏の逮捕について、ディオスダード・カベジョ内務司法相は、「PDVSA 運営で重要な役割を持つシステムのコントロールを米国企業に引き渡した」「この米国企業は2002年に起きた PDVSA ストライキの際に同システムを管理していた」と指摘。

「祖国の裏切り」の罪でテジェチェア氏を逮捕したと説明している。

検察庁もテジェチェア元石油相の逮捕について発表しているが、文章での発表のみに留まっており、タレク・ウィリアム・サアブ検事総長からの口頭での説明はない。

10月22日 マドゥロ大統領は、テジェチェア元石油相の逮捕についてコメント。

「官僚主義・怠惰・汚職との闘いに疲れてはいけない」と言及した。

経 済

「与党国会 CITGO 競売の責任者の捜査要請

～捜査対象者リスト 351人～」

米国デラウェア州裁判所は、CITGO の持株会社である「PDV Holdings」の競売（以下、CITGO 競売）の落札者（暫定）を決定した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1122](#)」）。

本件を受けて、与党国会は、検察庁に対して CITGO 競売の責任者に法的な処罰を下すよう要請。責任者を特定するための捜査を行うよう要請した。

CITGO は、米国にある PDVSA 関係会社だが、米国政府はマドゥロ政権をベネズエラ政府と認めていないため、同国での訴訟は野党側（野党国会）がベネズエラ政府として対応することになっていた。

しかし、野党側に国際訴訟を対応するような能力はなく、結果的にほとんど競売を阻止する措置を執ることが出来ないまま、裁判に敗訴。今回の競売に至っている。

与党国会は、「ファン・グアイド暫定政権下で CITGO を米国企業に引き渡すための汚職が行われた」と指摘。

具体的には、グアイド暫定政権下で会計監査総長を務めていたホセ・イグナシオ・エルナンデス氏（暫定政権の会計監査総長になる以前は、ベネズエラ政府を訴える側の弁護グループに所属していた）、カルロス・ベッキオ氏らの名前を挙げた。

与党国会が提出した捜査対象リストには351人が入っており、うち94人は野党議員、108人は野党国会に任命された暫定政権関係者、149人は野党系基金「シモン・ボリバル基金」から支援を受けていた非政府系団体の関係者だという。

「Provincial 銀行 自動車ローンキャンペーン」

10月25日～27日にかけて「BBVA Provincial 銀行」は、カラカスのショッピングセンター「Centro Comercial Ciudad Tamanaco (CCCT)」にて、「Autofest」を開催する。

自動車購入のための融資相談に乗ることが出来るイベントで、同イベントには50超のブランドの車、付属装備などが出展される予定だという。

融資は新車・中古車ともに相談に乗ることが出来るように、個人の場合は最大で車体価格の60%、法人の場合は最大で70%まで融資可能だという。

なお、返済期間は最大で48カ月だという。



(写真) BBVA Provincial 銀行

「マルガリータ島 ベネ移民の観光計画を推進」

ヌエバエスパルタ州の観光地マルガリータ島で、観光促進キャンペーンを実施するという。

観光団体「Cámara Hotelera」の Alberto Anneccino 代表によると、2025年の目標は、「観光客100万人を超えること」だという。

このキャンペーンのスローガンは、「マルガリータ島で再開しよう」。

外国に移住したベネズエラ人がマルガリータ島で、ベネズエラ国内に住む家族と再会するというプロモーションである。

Anneccino 代表は

「現在800万人のベネズエラ人が外国に居住しており、そのうちの約30%（240万人）は経済的な安定を手に行っている」

「この経済的な安定を手にしたベネズエラ人のうちの10%でも呼び込むことが出来れば、24万人がマルガリータ島に来ることになる」

「同時にベネズエラから家族がマルガリータ島にくるため、100万人の観光客の受け入れを見込むことが出来る」との見解を示した。

上記のような見通しを示しているが、2025年はマドゥロ氏とゴンサレス候補の大統領認識を巡り、国際社会で緊張が走ることになる。

マドゥロ政権は多くの国との国際線の停止を開始あるいは維持することが予想されており、このキャンペーンの実現は困難なのではないかと言うのが個人的な見解である。

2024年10月24日（木曜）

政治

「BRICS 首脳会議閉幕

～ベネズエラ 伯反対で候補国入りならず～」

10月22日から始まった BRICS 首脳会議は、24日に閉幕した。

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1132](#)」でも触れた通り、マドゥロ政権は、ベネズエラの BRICS 加盟を強く希望していたが、ベネズエラが BRICS 加盟候補国に入ることとはなかった。

BRICS は、同首脳会議でパートナー国候補について協議。アルジェリア、ベラルーシ、ボリビア、キューバ、インドネシア、ナイジェリア、タイ、トルコ、ウガンダ、ウズベキスタン、ベトナムが候補に挙がっているが最終決定ではないようだ。

少なくともベネズエラはパートナー国の候補には入っていない。

ベネズエラのパートナー国候補入りに反対したのはブラジル。なお、ブラジルはベネズエラだけでなくニカラグアのパートナー国候補入りも反対したという。

ベネズエラのパートナー国候補入りがブラジルによって拒絶されたことを受けて、マドゥロ政権はブラジルを批判する声明を発表。

ブラジルは、ボルソナロ政権から続くベネズエラの迫害と除外と不寛容の政策を適用し、ベネズエラの BRICS 加盟を妨害したと批判。

ただし、批判の矛先はあくまで「ボルソナロ政権」に終始しており、ルラ政権への批判は控えた。

なお、BRICS 首脳会議の夕食会にて、ブラジルの Mauro Vieira 外相とベネズエラのデルシー・ロドリゲス副大統領が意見交換を行ったという。

CNN によると、Vieira 外相はロドリゲス副大統領に対して、政治犯の拘束に懸念を表明、基本的人権を尊重するよう求めたという。また、ブラジル政府は現在 在ベネズエラ・アルゼンチン大使館で保護されている6人の野党関係者を保護しており、彼らの亡命についても承認を求めたという。



La República Bolivariana de Venezuela agradece al Presidente de la Federación de Rusia, Vladimir Putin, a su gobierno y al heroico pueblo ruso, por la invitación cursada al Presidente Nicolás Maduro Moros a participar en la Cumbre BRICS+ en Kazan.

Venezuela poseedora, no sólo de la mayor reserva energética del mundo, sino también estandarte de los valores, los principios y la visión de construir un mundo justo, multicéntrico y pluripolar, ha contado con el respaldo y apoyo de los países participantes en esta cumbre para la formalización de su ingreso a este mecanismo de integración.

Pero a través de una acción que contradice la naturaleza y postulado de los BRICS, la representación de la cancillería brasileña (Itamaraty), liderada por el embajador Eduardo Paes Saboia, decidió mantener el veto que Bolsonaro aplicó a Venezuela durante años, reproduciendo el odio, la exclusión e intolerancia promovidos desde los centros de poder occidentales para impedir, por ahora, el ingreso de la Patria de Bolívar a esta organización, en una acción que constituye una agresión a Venezuela y un gesto hostil que se suma a la política criminal de sanciones que han sido impuestas contra

(写真) ベネズエラ外務省

「BRICS 首脳会議 マドゥロ大統領の活動」

マドゥロ大統領は10月22日にロシアに到着。BRICS 首脳会議に出席している。

同会議にて、マドゥロ大統領が面談した大統領は、確認できた範囲で、ロシアのプーチン大統領、トルコのエルドアン大統領、ベラルーシの Aleksandr Lukashenko 大統領、ボリビアのルイス・アルセ大統領、ベトナムの Pham Minh Chinh 首相、イランの Masoud Pezeshkian 大統領、パレスチナの Mahmoud Abbas 大統領、エチオピアの Abiy Ahmed Ali 首相。

他、面談ではないが、立ち話のような形式で南アフリカの Cyril Ramaphosa 大統領、中国の習近平国家主席と短時間の会話を交わした。



(写真) マドゥロ大統領 Telegram

「首脳会議のメインテーマは新決済システム」

今回の BRICS 首脳会議のメインテーマは、BRICS の金融的な関係強化と報じられている。

BRICS 諸国は、欧米、特に米国を中心とした金融システムの依存を減らす新たな金融システム (BRICS Pay) の構築を目指していると言われている。

ブラジルのルラ大統領 (トイレで後頭部を怪我してしまったため、BRICS 首脳会議には出席できず、リモートで参加) は、「代替となる金融システムを新たに構築する時が来た」とコメント。

「新たな金融システムは、新興国を守ると同時に多様性を反映したシステムにするべき」との見解を示した。

欧米を中心とした金融システムの下で、ロシア・中国が安定的な経済成長を達成するのは困難であり、既存の金融システムの依存度を下げるといふ狙いがあるのだろう。

「MCM 氏・ゴンサレス氏 サバロフ賞受賞」

10月24日 欧州議会は、野党のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏 (以下 MCM) およびエドムンド・ゴンサレス氏に対して、サバロフ賞を授与した。

欧州議会の Roberta Metsola 議長は、「MCM 氏およびゴンサレス候補は、民主主義の回復と不平等の解消を求める全てのベネズエラ人を代表する存在になっている」とコメント。

サバロフ賞は、1975年にノーベル平和賞を受賞した Andrei Sájarov 氏に由来する賞で、当選者には50,000ユーロが送られるという。

なお、授賞式の動画を見る限り MCM 氏およびゴンサレス候補は授賞式に参加することはなかったようだ。

両名は、自身のソーシャルメディアにサバロフ賞の受賞を報告。ベネズエラの民主主義回復を支援する欧州議会の姿勢に感謝の意を表明した。

経 済

「Avex 非石油部門の輸出は伸び悩み」

10月24日 「ベネズエラ輸出者連合 (AVEX)」のラモン・ゴジョ代表は、2024年のベネズエラの非石油部門の輸出について、約30億ドルになるとの見通しを示した。

2023年の非石油部門の輸出も約30億ドルだったようで、前年とほとんど変わらないという。

輸出が伸び悩んだ理由について、2024年は物流の問題があったと指摘。また、為替レートの歪みが拡大し、物流コストに影響を与えたとの見解を示した。

なお、ベネズエラの非石油部門は、57カ国に輸出しており、主な品目は、ラム酒、コーヒー、エビ、くらげ、なまこなどを挙げた。

社 会

「パナマ ベネズエラ移民の本国送還に苦慮」

陸路で米国を目指す多くの移民がパナマのダリエン地峡を通過する。

パナマ政府によるとダリエン地峡を最も多く通過するのはベネズエラ人。次いでコロンビア人、エクアドル人、中国人、ハイチ人だという。

米国の Marlen Piñeiro 国内地域担当官は、EFE 通信に対して

「パナマ政府と米国政府との合意に従い、数日、遅くとも数週間以内にパナマはダリエン地峡のベネズエラ人を安全な第三国に送還するだろう」とコメントした。

また、記者から「送還先について、具体的にどの国と協議を行っているか明らかに出来るか？」と質問を受けると Piñeiro 担当官は「回答できない」と回答。ただし、「複数の国と意見交換している」と補足した。

米国政府は不法移民の本国送還に資金援助を行っており、これまでにパナマからコロンビア、エクアドル、インドに向けて20回、800人の不法移民を送還した。

この送還便が始まってからダリエン地峡を渡ろうとするコロンビア人(65%減)、エクアドル人(92%減)の数は大きく減少したという。

しかし、ダリエン地峡を渡る最も多い移民はベネズエラ人だが、パナマとベネズエラの国際線は7月末から停止しており、ベネズエラへの不法移民送還が出来ない状況になっている。

また、マドゥロ政権が期限切れのパスポートでの入国を認めないとの措置を執ったことでベネズエラ人の本国送還が更に困難になっている。

「Eurobuilding Caracas 年末の宿泊パッケージ」

カラカスにある「Eurobuilding Hotel」が年末を過ごす特別宿泊パッケージを提供するようだ。

12月21日～28日の7日間のパッケージで、この間ホテルのブッフェ、ドリンク、ホテル内の全てのアクティビティ（カラオケ、バー、ダンスホール、カジノ、プール、ジムなど）の利用が無料になるという。また、ホテルでカラカス市内探索ツアーなども用意している。

現地駐在員で、年末をカラカスで過ごすようなことがあれば、利用してみるのも一案ではないだろうか。

以上